

学校図書館メディア活用指導のための図書館整備および活用状況

足利市立けやき小学校 三柴君予

1 研究の課題

「生きる力をはぐくむ学校図書館」
～調べる楽しさ・読む楽しさを味わえる学校図書館をめざして～

↓

意欲を持って自ら学ぶ力・追求する力を育てる学習・情報センターとしての
学校図書館のあり方を研究する。

2 研究の目的

子どもたちにとって、学校図書館は「学びの宝庫」であり、学校教育において「知る・自分を成長させる」意味で重要な役割を果たしているものである。平成 13 年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、平成 14 年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定された。それに基づいて平成 16 年に「栃木県子どもの読書活動推進計画」が策定され、足利市でも「子どもの読書活動推進計画」が策定された。平成 15 年度からは、学校に司書教諭が配置されることとなり、学校図書館は、学習・情報センターとしての機能の充実を図っていく条件が整いはじめ、その必要が大きくなってきている。けやき小でも平成 15 年度から司書教諭が配置され、図書館がただの「本置き場」になることなく、読書センターとして、また学習・情報センターである学校図書館として機能するために整備を進めてきた。

学校図書館を活用して育てたい子どもの像として、以下の 3 点があげられる。

- ・ 学びのねらいと見通しをしっかりと持ち、学び続けようとする子ども
- ・ 学びを共有し深め合いながら、価値ある学びや活動をつくり出そうとする子ども
- ・ 自分や友達のよさを尊重し、よりよい学びや質的な高まりあいを楽しんでいるようとする子ども

子どもたちには、主体的に学ぶことの楽しさと意味をつかませる。そのことにより、自分の力をぐんぐん伸ばしていける「学ぶ力」を持った子どもになり、これからの社会に生きる力を持った子どもを育てることができる、と考えた。

学ぶ目的をしっかりと持ち、方法を見通し、学習したことを役立てる場を設定する。目的にあわせていろいろな方法で効率よく情報収集し、自分で資料や知りたいことを手に入れる体験をさせ

る。そのような、調べて分かる喜びを味わうことのできる活動、必要な情報を選んで活用する力を育てる活動をすることにより、学び方をしっかり身につけ、主体的に学ぶ楽しさと意味をつかむことが可能になると考えた。

学校図書館は、そのような学びの場として、学習・情報センターとして存在する必要がある。そのために、学校図書館が目的にあった機能をするように研究をすすめていこうと考えた。

3 研究の方法

「図書館に行けば、読みたい本、調べたい資料が見つかる。」と子どもたちが思うような図書館にしようと考えた。利用を待つ図書館ではなく、利用を働きかける図書館に、という発想である。

そのために、次のような方法で研究を進めた。

- (1) 学校図書館メディアの整備
- (2) 図書館の環境整備・コンピュータの効果的活用
- (3) 系統的指導表の作成・年間計画の作成
- (4) 学校図書館利用推進
 - ① 学年・学級の取り組み
 - ② 学校図書館を利用した授業実践
 - ③ 図書委員会活動の充実
- (5) 学校図書館ボランティアの活用
- (6) 公共図書館との連携

4 研究の内容

(1) 学校図書館メディアの整備

〈平成 15 年度〉

○12月から3月にかけて、月に1週間、図書館教育指導員が足利市から派遣されたことをうけて、図書バーコード管理システムを導入した。冬休みに全教職員の協力を得て、図書データを入力し、バーコードを本に貼付した。それに伴い、図書を全面的に見直し、廃棄基準を決め、図書の廃棄・選定を行った。15年度中に7割完了した。

○NDCによる十進分類法によって、本の配架をしなおした。7割程度完了。

〈平成 16 年度〉

○図書バーコード管理システムを完了。NDC分類が3桁で統一されていなかったため、その整備を進めた。本の配架完了。

〈平成 17 年度〉

○「けやき小図書館のNDC分類表」を作成し、それにしたがって分類番号の貼付をし、配架の整備をより進めた。このことにより、どこにどんな本があるのか明示し、調べたい本を容易にさがせるようにした。

○図書以外の資料の整備をすすめた。

図書以外の資料は、新聞・雑誌、オーディオソフト（カセットテープ、CD、MD等の録音資料）、ビデオソフト（LD、DVD等を含む映像資料）、コンピュータ・ソフト（CD-ROM、DVD-ROM等のコンピュータ資料）、パンフレット等のファイル資料などがあげられる。

ア) パンフレット等のファイル資料については、ファイルボックスを活用して分類し、種類を明記して利用しやすくした。

イ) オーディオソフト（カセットテープ、CD、MD等の録音資料）、ビデオソフト（LD、DVD等を含む映像資料）、コンピュータ・ソフト（CD-ROM、DVD-ROM等のコンピュータ資料）については、一箇所に集め、目録を作成している。

ウ) 図書館にコンピュータを設置し、コンピュータ・ソフトを使用できるようにした。

○子どもたちが調べ学習をした際には、資料カードを作成することを手がけた。このカードを図書館に残しておくことで、資料の検索が容易になった。

○けやき小図書館の地図を作成・掲示し、資料を探す手がかりとした。

（2）図書館の環境整備・コンピュータの効果的活用

学校図書館メディアを整備するとともに、環境整備もすすめた。分類に基づいた資料の配架をし、児童が使いやすいように、どこにどのような種類の学習・情報メディアがあるのかを明示したのは、先に述べたとおりである。図書についてはバーコードを貼付したことで、コンピュータでの検索が容易にでき、著者、題名、分類で検索可能になっている。必要な資料が手に入れられるように、図書の予約システムも利用している。また、子どもが自分で検索できるように、検索専用のコンピュータを設置した。さらに件名を入力し、件名検索ができるように整備した。

これらを生かすために、コンピュータを利用した調べ学習コーナーを図書館に設置し、日常的に調べ学習ができるようにした。ビデオを鑑賞するスペースも設置した。

（3）系統的指導表の作成・年間計画の作成

年度始めに図書館教育計画を作成し、全職員に理解と協力を求めた。また、図書館の活用指導計画の系統的指導表を作成し、継続して学校図書館メディア活用の力が身につくように指導している。

また、全国学校図書館協議会制定の「情報・メディアを活用する学び方の指導体系表」に基づいて、各学年の教育課程と照らし合わせて、各学年の図書館活用年間計画を作成し、年間指導計画に追記した。これにより、各学年で必要な学習・情報メディアを洗い出し、単元別目録を作成した。また足りないものをそろえる計画を立てた。

(4) 学校図書館利用推進

子どもたちが学校図書館を身近なものとして感じ、日常的に関わっていくことで、活用の幅も広がってくる。そのため、学校の全学級に協力をお願いして、学校図書館の利用を推進するために、以下のような活動を行っている。

①学年・学級の取り組み

○朝読書

毎週木曜日、朝学習の時間に実施する。平成16年度より教師も一緒に取り組む。

○児童の「おすすめの本」カードの作成

秋の読書週間中に全児童が取り組む。図書館に掲示する。

○教職員による本の紹介コーナー

交代で掲示する。学習に使える本などを積極的に提示する。

○分類・種類を意識した利用指導

- ・発達段階に応じて利用指導を行う。系統的利用指導表を活用する。
- ・検索システムや予約システムの使い方の指導をする。

○資料の探し方・読み方の訓練

発達段階に応じて資料の活用を授業に取り入れ、その都度訓練していく。

②学校図書館を利用した授業実践

図書館活用年間計画に基づき、学校図書館を利用した授業実践を行う。記録をとり、職員向け図書館使い等で紹介する。実践により、年間計画の見直しを図る。低学年から継続して図書館学習をすることで、図書館を利用する力が高まっていくことが期待される。

③図書委員会活動の充実

- ・貸出返却処理・延滞図書の催促
- ・「図書委員おすすめの本」の掲示

自分が紹介した本が年間どれくらい借りてもらえるか競争し、きちんと内容がわかっている本を薦めるようにする。

- ・小学生新聞の管理・掲示
- ・「図書室の使い方」の掲示
- ・図書クイズ作成

常時貼っておく。資料の探し方、読み方の訓練にもなる。スタンプラリーにして、児童が

興味を持つようにする。

- ・読み聞かせ・紙芝居

年2回、6月と11月の読書週間中、昼休みに実施する。

- ・お昼の放送で本の紹介をする。
- ・本の帯コンテスト
- ・季節に合わせた掲示・図書館の使い方の掲示
- ・書架の整理
- ・予約システムの管理

予約がしてある本をカウンターで管理し、児童に連絡する。

(5) 学校図書館ボランティアの活用

P T A図書文化委員による読み聞かせ活動（年に7～8回程度）、外部団体から講師を招いての「民話の語り」（年に3回程度）を平成15年度から実施している。昼休みに実施し、多数の児童が集まっている。実施した保護者からは、「子どもたちのために活動していることが実感できてよかった」という声が聞かれた。

平成17年度には、保護者に「子どもが行きたくなるような図書館にするために」「利用しやすい図書館にするために」と呼びかけて、学校図書館ボランティアを募集した。図書の修繕・コートカバーかけ・バーコード貼付などの作業を行っている。話し合いの結果、今後は学習テーマに沿った図書の展示の作業を計画している。活動に参加した保護者からは「図書館のことが分かってよかった」「子どもたちのために役に立ってよかった」という声があがっている。学校図書館に対する保護者の意識を高め、また、多数の手を借りることで、より整備された利用しやすい図書館になることを期待している。

(6) 公共図書館との連携

足利市では、学校図書館間のネットワーク化が進んでいないため、他の学校からの借り入れには時間がかかる。また学習時期が重なると、必要な本が重なるため、実際には難しい状況にある。公共図書館としては、市立図書館はなく、栃木県立足利図書館がある。この県立図書館とのネットワーク化にはいろいろ問題があり、進んでいない。

平成16年度より、栃木県立足利図書館から市内の学校に向けて、「ブックトーク」をする旨の案内があり、何回か来校してもらった。テーマに沿った本を選定して、紹介をしてくれた。その後紹介した本を学校にまとめて貸出してくれるので、学習の導入や調べる場面などで、効果的な導入を図ることができた。

平成17年度は、交渉の結果、5～20冊くらいの本を学校に貸出をしてくれるということに

なったので、それも効果的に導入していく予定である。

5 研究の成果

今回の研究をしたことによって、次のような成果が得られた。

○図書をバーコード管理したことで、貸出・返却が容易になり、延滞も減らすことができた。

結果として、図書の利用数が非常に増えた。システムを導入する際、図書の選定・廃棄を大々的に行ったことで児童にとって魅力のある図書が増えたことも利用の増加の要因の一つではないかと思われる。図書委員会活動の充実により、児童にとって学校図書館が身近なものになってきたことも利用増加の要因と考えられる。

○図書館に児童がいることが増え、どこにどんなものがあるのかということが分かってきた様子が見られる。児童の図書館を利用する力の高まりが感じられ、それにより主体的に学ぶ楽しさと意味をつかむことができているのではないかと思われる。調べ学習コーナーでは、休み時間に自主的に調べ学習をしている姿も見られるようになった。

○学校図書館の整備をすすめたことで、学習・情報メディアの検索が容易になり、ほしい時にほしいものをみつけることができるようになった。児童が「学ぶ力」を身につける学習・情報センターとしての図書館の機能が充実してきたと考えられる。

○系統的な指導表・図書館活用年間計画を作成し、提示したことなどから、全学級での利用指導・活用がすすんだ。学校図書館を「学びの宝庫」とし、学習に活用していく体制が整ってきた。また、発達段階に応じて継続して指導を続けていく姿勢ができてきた。

6 今後の課題

図書館に児童がいることが増え、活用状況がよくなってきた様子がみられることから、より子どもたちにとって利用しやすい図書館づくりをしていく必要がある。特に地域資料などはまだ足りない状況であるため、多方面に協力をよびかけて集めていく予定である。「図書館に行けば、読みたい本、調べたい資料が見つかる。」と子どもたちが思うには、まだ至らない点が多々ある。他の学校図書館、公共図書館、多方面の機関との連携もすすめ、児童がほしいものを手にいれることができるようにしたい。

また、学びの場として学校図書館を活用して学習活動をしていくことで利用する力をより高め、主体的に「学ぶ力」を持った子どもたちを育てるために、より一層各学年・学級での取り組みを充実させる必要がある。足りない資料集め、件名検索の充実、単元別目録や年間指導計画の見直しも継続して行っていく。また教職員が児童に対してレファレンスサービスができるように、職員向け図書館便り等で学校図書館に対する共通理解を図っていく必要がある。

平成 15 年度 12 月から平成 16 年度 2 月にかけて、図書館教育指導員が月に 1 週間、図書館

にいたことは、学習・情報センターとしての学校図書館活用にとって大きなプラスであった。図書館に図書館の専門家がいると、児童が迷ったり悩んだりしたとき、調べ学習のときなど、必要なアドバイスを受けることができる。自然に児童が集まり、日常的に調べ学習が行われ、活気づいている様子が見られた。残念ながら本年度から配置されないこととなり、図書館に専属でいることができる人がいない状況である。司書教諭配置前と状況的には変わらない人員体制の中で、どのように「人のいる図書館」にしていくか、という大きな課題が残る。

学校図書館教育計画

学校教育目標

考える子 思いやる子 やりぬく子	考える力 思いやる心 やりぬく態度	・よく考えて学習(行動)する子供 ・やさしい心を持ち、正しい考えに従って行動する子供 ・目標をもって、根気強く学習や運動をする子供
------------------------	-------------------------	---

図書館教育目標

- (1) 図書館に親しみ、読書の楽しさ、喜びを味わわせ、豊かな心情を養う。
- (2) 各教科の発展としての図書を読むことにより、学習の定着、拡充を図る。
- (3) 図書館の資料を効果的に利用し、進んで学習する態度を養う。

育てたい子どもの像
(1) 図書館に親しみ、読書の楽しさ、喜びを味わい、心情豊かな子ども
(2) 学びのねらいをしっかりと持ち、学び続けようとする子ども
(3) 学びを共有し深め合いながら、価値ある学びや活動をつくり出そうとする子ども
(4) 自分や友達のよさを尊重し、よりよい学びや質的な高まりあいを築いていこうとする子ども

具体策
(1) 読書指導の充実を図り、読書を楽しむ子が増えるようにする。
(2) 低・中・高それぞれに魅力ある本を増やし、多くの児童に利用される図書館づくりに努める。
(3) 図書館にある書籍、学習に利用できるパンフレット、リーフレット、資料等を整備する。学習室としての環境を整え、学習に役立つ図書館づくりをする。図書館の利用指導を行い、情報メディアの活用推進を図る。

学校図書館課題

「生きる力をはぐくむ学校図書館」～調べる楽しさ・読む楽しさを味わえる学校図書館をめざして～

読書センターとしての図書館

学習・情報センターとしての図書館

各学年目標

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
やさしい読み物を楽しんで読む		いろいろな読み物を読む	読書の範囲を広げ、読書量を増やす	読書をおして知識を増し心情を豊かにする	適切な読み物を選んで読む習慣をつける
図書館利用の基礎的なものが分かる		図書館利用の仕方や情報の検索方法が分かる		積極的に参考資料を活用するための処理方法を知り利用できる	

《学校図書館運営》

- 貸出管理
 - ・図書のバーコード管理
 - ・予約システムの管理
- 図書館メディア整備
 - ・図書のバーコード貼付
 - ・件名入力
 - ・単元別図書目録の作成・提示
 - ・検索システム管理
 - ・図書の選定・廃棄
 - ・図書以外の資料の整備
 - ・けやき小NDC分類表の作成・提示
- 図書館の環境整備
 - ・分類に基づいた資料の配架
 - ・調べ学習コーナーの設置
 - ・本の紹介コーナーの設置
 - ・各種掲示の充実
- 図書館便り作成
 - ・児童向け
 - ・保護者向け
 - ・教職員向け
- 系統的利用指導表の作成・提示
- 図書館活用年間計画の作成・提示

《各学年・学級の取り組み》

- 朝読書
- 児童の「おすすめの本」カード作成指導
- 教職員による本の紹介
- 系統的利用指導表の活用
- 図書館活用年間計画の活用
- 図書館を利用した授業実践
- 検索システム・予約システムの活用促進
- 図書資料の探し方、資料の読み方の訓練

《委員会活動》

- 貸出管理
 - 「図書委員のおすすめの本」の掲示
 - 小学生新聞の掲示
 - 「図書館の使い方」の掲示物の作成
 - 図書クイズ作成
 - 読書週間の実施
 - 読み聞かせ・紙芝居
 - お昼の放送での本の紹介・活動紹介
 - 本の帯コンテスト
 - 季節にあわせた掲示物の作成

図書館ボランティアの活用
・図書の修繕
・読み聞かせ

公共図書館との連携
・ブックトーク
・団体貸出の活用

学校図書館活用指導計画 系統的指導表

項目	低学年	中学年	高学年	
読書	○やさしい読み物を楽しいで読む	○いろいろな読み物を読む。 ○読書の範囲を広げ、読書量を増やす。	○読書をとおして知識を増し心情を豊かにする。 ○適切な読み物を選んで読む習慣をつける。	
利用の仕方	○利用の仕方やきまり、エチケットが分かり、楽しく利用することができる。	○図書の分類と配架が分かり、きまりを守って進んで利用することができる。 ○公共図書館の利用の仕方がわかる。	○学校図書館の機能を理解し、目的に応じて積極的に利用することができる。 ○公共図書館を利用することができる。	
	○コンピュータの起動・終了、マウスの使い方などがわかり、コンピュータに慣れ親しむことができる。	○コンピュータやネットワークを活用して情報を集めたりつくったりすることができる。	○目的に応じてコンピュータやネットワークを積極的に活用し、情報を集めたり、つくったものを伝達したりすることができる。	
情報活用能力	さがす力	○目的に応じて必要な本を選び、索引などを利用して調べることができる。 ○目的に応じて、必要な部分を重点的に読むことができる。 ○辞典・図鑑・やさしい百科事典・雑誌・パンフレット等、様々な資料を利用することができる。	○複数の本や資料を比較したり、情報の適否を判断したり、自分の意見とくらべたりしながら、必要な情報を収集することができる。 ○目的に応じて、複数の資料を再構成することができる。 ○新聞・雑誌などを含む様々な図書館資料を利用できるとともに、目的にあった資料を集めることができる。	
	まとめる力	○わかったことをうつしたり、絵にかいたりして、まとめることができる。	○情報を要約したり、目的に応じて複数の資料をまとめなおしたりすることができる。 ○図表・統計・イラスト等を用いて、自分なりのまとめ方でわかりやすくまとめることができる。 ○資料リストを作成することができる。	
	表現する力	○調べたことを、友だちや身近な人に話したり説明したりすることができる。	○絵や表、新聞、紙芝居、コンピュータ等で調べたことを表現することができる。 ○伝えたいことの手がかりが相手に伝わるように工夫して、表現することができる。	○適切で効果的な表現方法を選ぶことができる。 ○全体の構成を考えて、事実と自分の感想・意見を区別して、効果的に表現することができる。 ○目的や相手に応じて、プレゼンテーションをすることができる。
	課題をみつける力	○よく聞いてわからないことを質問することができる。 ○自分の感想を持つことができる。	○わからないことを聞き返して、内容を正確につかむことができる。 ○自分の感想をまとめ、次の課題を持つことができる。	○主題や要旨を理解しながら聞くことができる。 ○自分の考えとくらべ、考えを深めたり、課題を持ったりすることができる。

	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
小学校低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のめあてを持つ <ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマの選択 ○情報・メディアの利用法を知る <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館のきまり ・学級文庫のきまり ・図書の取り扱い方 ・コンピュータの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・ラベルと配置 ・レファレンスサービス ○課題に応じてメディアを利用する <ul style="list-style-type: none"> ・図鑑等の図書資料 ・掲示、展示資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を集める <ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用 ○記録の取り方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・抜き書きの仕方 ・絵を使った記録の仕方 ・気づいたことの書き方 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことをまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・情報の整理 ・感想の書き方 ・絵や文章のまとめ方 ○学習したことを発表する <ul style="list-style-type: none"> ・展示、掲示による発表 ・紙芝居やペープサートによる発表 ・OHP、OHCを使った発表 ○学習の過程と結果を評価する <ul style="list-style-type: none"> ・調べ方 ・まとめ方 ・相互評価
小学校中学年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画の立て方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマの選択 ・調べ方の選択 ○情報・メディアの種類や特性を知る <ul style="list-style-type: none"> ・図書 ・視覚メディア ・電子メディア ・人的情報源 ○情報・メディアの利用法を知る <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館、学級文庫のきまりや使い方 ・公共図書館でのサービス ・図書の取り扱い方 ・ネットワークの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・分類の仕組みと配置 ・請求記号と配架 ・コンピュータ目録 ・レファレンスサービス ○その他の施設を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館 ・各種施設 ○課題に応じてメディアを利用する <ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典、地図等の図書資料 ・ファイル資料 ・掲示、展示資料 ・視覚メディア ・電子メディア 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を集める <ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用 ○記録の取り方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・抜き書きの仕方 ・切り抜き、ファイルの作り方 ・要点のまとめ方 ・表や図の作り方 ・ノートのまとめ方 ・AV機器等を使った記録の取り方 ○必要な情報を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた情報の選択 ○利用上の留意点を知る <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット ・著作権 ・情報モラル ・個人情報 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことをまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・情報の取舍選択、整理 ・自分の意見のまとめ方 ・絵や文章のまとめ方 ・図や表の取り入れ方 ・写真や音声の取り入れ方 ・資料リストの作成 ○学習したことを発表する <ul style="list-style-type: none"> ・展示、掲示による発表 ・紙芝居やペープサートによる発表 ・劇や実演による発表 ・OHP、OHCを使った発表 ○学習の過程と結果を評価する <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの使い方 ・調べ方 ・まとめ方 ・発表の仕方 ・相互評価
小学校高学年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習計画の立て方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・学習テーマの選択 ・調べ方の選択 ○情報・メディアの種類や特性を知る <ul style="list-style-type: none"> ・図書、新聞、雑誌 ・視覚メディア ・電子メディア ・人的情報源 ○情報・メディアの利用法を知る <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館、学級文庫のきまりや使い方 ・公共図書館や各種文化施設でのサービス ・図書の取り扱い方 ・ネットワークの使い方 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・分類の仕組みと配置 ・請求記号と配架 ・カード目録 ・コンピュータ目録 ・レファレンスサービス ○その他の施設を利用する <ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館 ・各種施設 ○課題に応じてメディアを利用する <ul style="list-style-type: none"> ・漢字辞典、事典、年鑑等の図書資料 ・新聞、雑誌 ・ファイル資料 ・掲示、展示資料 ・視覚メディア ・電子メディア 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を集める <ul style="list-style-type: none"> ・各種メディアの活用 ・人的情報源の活用 ○記録の取り方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・抜き書きの仕方 ・切り抜き、ファイルの作り方 ・要点のまとめ方 ・表や図の作り方 ・ノートのまとめ方 ・記録カードの作り方 ・AV機器等を使った記録の取り方 ・コンピュータでの記録の取り方 ○情報を比較し、評価する <ul style="list-style-type: none"> ・複数の情報の比較、評価 ○利用上の留意点を知る <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット ・著作権 ・情報モラル ・個人情報 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習したことをまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・情報の取舍選択、整理 ・自分の考えのまとめ方 ・絵や文章のまとめ方 ・図や表の取り入れ方 ・写真や映像、音声の取り入れ方 ・コンピュータを使ったまとめ方 ・資料リストの作成 ○学習したことを発表する <ul style="list-style-type: none"> ・展示、掲示による発表 ・紙芝居やペープサートによる発表 ・劇や実演による発表 ・録音、ビデオ、OHP、OHCを使った発表 ・コンピュータを使った発表 ○学習の過程と結果を評価する <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの使い方 ・情報の調べ方 ・情報のまとめ方 ・発表の仕方 ・相互評価

情報・メディア活用指導計画表

1年	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
4月				
5月	学活「図書館の使い方」 ・図書館のきまりを知る。 ・図書の扱い方を知る。			
6月		国「いろいろなくちばし」 ・図書館で生き物の本や図鑑を見つけて読む。		
7月		国「ほんとなかよし」 ・教科書に紹介されている本や、おもしろそうな本を図書館で探して読む。		
8月				
9月				
10月				
11月	学活「読書をしよう」 ・図書館に行って、好きな本を読む。			
12月			国 「本ともだちになろう」 ・図書館で好きな本を1冊選び紹介する事柄を集める。	
1月				
2月				国「ちがいをかんがえてよもう」 ・絵本や図鑑から動物の赤ちゃんについて調べ、カードにまとめる。
3月				国「おはなしをたのしもう」 ・本の紹介カードを作り、紹介し合う。

情報・メディア活用指導計画表

2年	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
4月				
5月	学活「図書館の使い方」 ・情報・メディアの利用法を知る。	生「おひさまのにおいっぱいとれたてのやさい」 ・学校図書館を利用する。		
6月		生「いきいきキラキラ生きている」 ・学校図書館を利用する。		国「本ともだちになろう」 ・学習したことをまとめる。
7月				
8月				
9月				
10月		生「ふしぎたんけんふれあいたんけん」 ・学習したことをまとめ発表する。		国「だいじなところに気をつけて読もう」 ・学習したことをまとめる。
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				国「お話を楽しもう」 ・学習したことをまとめる。

情報・メディア活用指導計画表

3年	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
4月				
5月	学活 「図書室の利用の仕方」 ・情報メディアの利用の仕方を知る。	国「国語辞典を使おう」 ・課題に応じてメディアを利用する。		
6月		理「チョウをそだてよう」 ・課題に応じてメディアを利用する。	社「地図を広げて一足利市を案内しますー」 ・課題に応じてメディアを活用する。	
7月		図 「足利の花火のポスター」 ・課題に応じてメディアを利用する。		
8月				
9月		理「こん虫をさがそう」 ・課題に応じてメディアを利用する。		社「売るしごと、つくるしごとのくふう」 ・学習したことをまとめる。
10月		理「植物の一生」 ・課題に応じて、メディアを利用する。		
11月				
12月			国 「食べ物がかせになろう」 ・情報を集める。	
1月				
2月			国「漢字と友だち」 ・課題に応じてメディアを利用する。	
3月				

情報・メディア活用指導計画表

4年	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
4月	社「事故や事件をふせく」 ・テーマの選択 理「春のしぜん」 ・計画を立てる	社「事故や事件をふせく」 ・メディアを利用する 理「春のしぜん」 ・メディアを利用する	社「事故や事件をふせく」 ・情報を集める、選ぶ ・記録のとり方を知る	社「事故や事件をふせく」 ・まとめる ・発表する
5月	学「図書館の使い方」 ・図書館の利用の仕方 ・メディアの利用の仕方	国「漢字辞典の使い方」		
6月	国「新聞記者になろう」 ・テーマの選択 総「発見！渡良瀬川」 ・テーマの選択 社「事故や事件をふせく」 ・テーマの選択	国「新聞記者になろう」 ・メディアを利用する 総「発見！渡良瀬川」 ・メディアを利用する 社「事故や事件をふせく」 ・メディアを利用する	国「新聞記者になろう」 ・情報を集める ・記録のとり方を知る 総「発見！渡良瀬川」 ・情報を集める ・記録のとり方を知る 社「事故や事件をふせく」 ・情報を集める ・記録のとり方を知る	国「新聞記者になろう」 ・まとめる ・発表する 総「発見！渡良瀬川」 ・まとめる ・発表する 社「事故や事件をふせく」 ・まとめる ・発表する
7月	国「本は友達／本の探し方」 ・資料の探し方 理「夏のしぜん」 ・計画を立てる	理「夏のしぜん」 ・メディアを利用する		国「本は友達」 ・本の紹介カードを書く
8月				
9月	社「じゃらの向こうに(水)」 ・テーマの選択 国「伝え合うということ」 ・テーマの選択	社「じゃらの向こうに(水)」 ・メディアを利用する 国「伝え合うということ」 ・メディアを利用する	社「じゃらの向こうに(水)」 ・情報を集める ・記録のとり方を知る 国「伝え合うということ」 ・情報を集める ・記録のとり方を知る	社「じゃらの向こうに(水)」 ・まとめる ・発表する 国「伝え合うということ」 ・まとめる ・発表する
10月	社「ごみのゆくえ」 ・テーマの選択	社「ごみのゆくえ」 ・メディアを利用する 国「にた意味の言葉」 ・言葉あつめをする	社「ごみのゆくえ」 ・情報を集める、選ぶ ・記録のとり方を知る	社「ごみのゆくえ」 ・まとめる ・発表する
11月	国「アップとルーズで伝える」 ・テーマの選択 理「秋のしぜん」 ・計画を立てる	国「アップとルーズで伝える」 ・メディアを利用する 理「秋のしぜん」 ・メディアを利用する 国「いろいろな意味をもつ言葉」	国「アップとルーズで伝える」 ・情報を集める ・記録のとり方を知る	国「アップとルーズで伝える」 ・まとめる ・発表する
12月	社「活躍した先人たち」 ・テーマの選択 国「生活を見つめて」 ・テーマの選択	社「活躍した先人たち」 ・メディアを利用する 国「生活を見つめて」 ・メディアを利用する 国「熟語の意味」 ・熟語を調べる	社「活躍した先人たち」 ・情報を集める、選ぶ ・記録のとり方を知る 国「生活を見つめて」 ・表やグラフにまとめる	社「活躍した先人たち」 ・まとめる ・発表する 国「生活を見つめて」 ・発表する
1月	理「冬のしぜん」 ・計画を立てる	国「言葉あそび」 ・メディアを利用する 社「栃木県を知ろう」 ・メディアを利用する 理「冬のしぜん」 ・メディアを利用する	国「言葉あそび」 ・記録のとり方を知る 社「栃木県を知ろう」 ・表現する方法を考えてまとめる	国「言葉あそび」 ・発表する 社「栃木県を知ろう」 ・発表する
2月		社「県の人たちの暮らし」 ・メディアを利用する 国「漢字しりとり」	社「県の人たちの暮らし」 ・表現する方法を考えてまとめる	社「県の人たちの暮らし」 ・発表する
3月				

情報・メディア活用指導計画表

5年	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
4月	国「漢字の成り立ち」	国「漢字の成り立ち」 ・漢字の由来について調べる。	国「漢字の成り立ち」 ・漢字辞典を使って調べる。	国「漢字の成り立ち」 ・レポートにまとめる。
5月	国「言葉の研究レポート」 ・テーマを決める。		国「言葉の研究レポート」 ・情報を集める。	国「言葉の研究レポート」 ・レポートにまとめる。
6月		理「ヒトのたんじょう」 ・課題に応じてメディアを利用する。	理「ヒトのたんじょう」 ・ヒトが誕生するまでについて資料で調べる。	
7月			理「受け継がれる生命」 ・身近な花の花粉を資料を見て調べる。	
8月				
9月	国「人と物とのつきあい方」 ・調べる計画を立てる。	国「人と物とのつきあい方」 ・課題に応じてメディアを利用する。	国「人と物とのつきあい方」 ・インターネットで調べる。 理「天気の変化」 ・台風の動きや天気の変化について調べる。	国「人と物とのつきあい方」 理「天気の変化」 ・調べたことをまとめる。
10月			理「天気の変化」 ・天気の言い伝えなどを調べる。	
11月			理「流れる水のはたらき」 ・川の写真などから、上流や下流の様子を調べる。	
12月	国「工夫して発信しよう」 ・テーマを決める。	国「工夫して発信しよう」 ・課題に応じてメディアを利用する。	国「工夫して発信しよう」 ・情報を集める。	国「工夫して発信しよう」 ・レポートにまとめ発表する。
1月			社「気候のちがいはどうくらしを変えているの」 ・雪国やあたたかい島の人々のくらしについて資料を活用して調べる。 総「4年生に伝えよう」 ・米作りの過程について、インターネットで調べる。	社「気候のちがいはどうくらしを変えているの」 ・調べたことをまとめる。 総「4年生に伝えよう」 ・調べたことをまとめて発表する。
2月			社「くらしの環境は、どのように守られているの」 ・公害について、インターネットで調べる。	社「くらしの環境は、どのように守られているの」 ・調べたことをまとめる。
3月				

情報・メディア活用指導計画表

6年	I 学習と情報・メディア	II 学習に役立つメディアの使い方	III 情報の活用の仕方	IV 学習結果のまとめ方
4月	<p>総「修学旅行の自由行動について調べる」</p> <p>社「古代の暮らし」について調べる。</p>	<p>総「鎌倉」について調べる。</p>	<p>社「古代の暮らし」</p> <p>・情報を集める。</p>	<p>社「古代の暮らし」</p> <p>・古代の暮らしの様子を掲示資料にまとめる。</p>
5月	<p>国「漢字の広場」</p> <p>国「暮らしの中の詩」</p> <p>・調べる計画をたてる。</p>	<p>国「漢字辞典」を使い、漢字集めをする。</p> <p>国「ことわざ」や「四字熟語」を調べる。</p>	<p>総「修学旅行」</p> <p>・調べたことをもとに、自由行動の計画を立てる。</p>	<p>総「修学旅行」</p> <p>・鎌倉ガイドブックを作る。</p>
6月		<p>国「漢字辞典」を使い、漢字集めをする。</p>		<p>総「修学旅行」</p> <p>・鎌倉ガイドブックを作る。</p>
7月	<p>理「生物とかんきょう」</p> <p>・環境問題を調べる計画を立てる。</p> <p>国「読書の世界を深めよう」</p>	<p>理「環境問題」を調べる。</p> <p>国「読書の世界を深めよう」</p> <p>・「読書」について知りたいことを書く。</p>	<p>国「読書の世界を深めよう」</p> <p>・質問に対して答えられる本を知っている場合、書く。</p>	<p>理「生物とかんきょう」</p> <p>・かへ新聞にまとめる。</p>
8月				
9月				
10月	<p>国「漢字の広場」</p>	<p>国「漢字の広場」</p> <p>・漢字を調べる。</p>		
11月	<p>国「熟語の成り立ち」</p>	<p>国「熟語の成り立ち」</p> <p>・熟語の構成を調べる。</p>		
12月	<p>国「自分の考えを発表しよう」</p>		<p>国「自分の考えを発表しよう」</p> <p>・インターネットで発信する。</p>	
1月	<p>社「世界の人々とわたし」</p>	<p>社「世界の人々とわたし」</p> <p>・世界の人々の暮らしを調べる。</p>	<p>社「世界の人々とわたし」</p> <p>・切り抜きを作り、まとめる。</p>	
2月	<p>理「自然とともに生きる」</p> <p>・7月の学習のPart 2</p>	<p>理「自然とともに生きる」</p> <p>・7月の学習のPart 2と結びつける。</p>	<p>理「自然とともに生きる」</p> <p>・資料を切り抜き、まとめる。</p>	
3月				

今までに図書館をどんな学習で利用しましたか？

学習内容 (学年・教科・単元名など)	利用の仕方 (こんな本を使った、新聞を使った、など)
4年・総合「発見！渡良瀬川」	・渡良瀬川の植物 ・みる・きく・あそぶ 渡良瀬川の自然
4年・国語「新聞記者になろう」	・小学生新聞
国語	・国語辞典 ・漢字辞典
3年・社会「昔のくらし」	・昔のものしらべ 社会科学の棚の郷土芸能
3年・国語「本の帯をつくろう」	・自分の好きな本
4年・国語「本の紹介カードをかこう」	・自分の好きな本
3年・総合「手話」	・社会科学の棚の本
4年・社会「安全なくらし」	・消防の仕事、警察の仕事を調べる 6分類の棚の本
4年・総合「わたしたちにできること」	・点字についての本 ・点字シートの貼ってある本
5年・国語「詩を読もう」	・好きな詩を探す(詩の本)
5年・国語「言葉の研究レポート」	・言葉について、自分の課題を調べるためレポートを作成する。 (ことわざ辞典、国語辞典)
5年・総合「たんぼぼ訪問」	・紙芝居を活用した。
6年・総合「修学旅行の自由行動につ	・鎌倉ガイドブック
6年・総合「ガイドブックを作ろう」	・鎌倉ガイドブック
6年・社会「古代のくらし」	・資料集、百科事典、歴史の本
6年・国語「漢字の広場」	・漢字辞典、百科事典
6年・国語「暮らしの中の言葉」	・漢字辞典、国語辞典、ことわざ辞典、百科事典、ことばのきまり、などを使い、四字熟語を調べた。
5年・国語「国語辞典を使って」	
5年・国語「漢語と和語」	
5年・国語「方言と共通語」	
5年・理科「生命の誕生」	・人体のふしぎシリーズ

評

変化の激しいこれからの社会を生きる子供たちが、主体的、創造的に生きていくためには、自ら学ぶ意欲と自ら考え主体的に判断し、行動できる資質や能力を育成することが、特に重要となってきます。これら子供の主体的・意欲的な学習活動を推進していく上で、また、総合的な学習の時間などにおいて多様な教育活動を展開していく上で、学校図書館は重要な役割を果たすものです。

本研究においては、「調べる楽しさ・読む楽しさを味わえる学校図書館をめざして」を副主題に掲げ、意欲をもって自ら学ぶ力・追求する力を育てる学習・情報センターとしての学校図書館の在り方について研究に取り組みました。

具体的には、図書バーコード管理システムの導入などによる学校図書館メディアの整備やコンピュータの効果的な活用、学校図書館を活用して育てたい子どもの像を明確にした学校図書館教育計画や系統的指導表、各学年の年間指導計画の作成と授業実践などに学校全体で取り組むとともに、保護者による読み聞かせや学校図書館ボランティアの実践、公共図書館職員によるブックトークの実施など、家庭や関係機関とも連携した研究となっています。

また、調べ学習における資料カードの作成と活用、全児童や図書委員による「おすすめの本」カードの作成と掲示、図書クイズの作成など、子供が学校図書館を身近なものとして感じ、調べる楽しさ・読む楽しさを味わえる具体的な実践が数多く提示されているのも、学校図書館の利用推進に取り組まれている学校にとって大いに参考になることでしょう。

今後においても、主体的に学ぶ力をもつ子供を育成するために、けやき小学校の学校図書館教育の更なる充実に期待いたします。